

神戸市感染症発生動向調査週報

平成31年2月26日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所 (内訳) 東灘6, 灘3, 中央3, 兵庫3,
設置定点数 48 ケ所 北8, 長田3, 須磨6, 垂水8, 西8

第 8週

平成31年2月18日 ~

平成31年2月24日

インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	80歳~
インフルエンザ	17	11	12	14	34	24	39	87	69	307		4	7	11	12	14	7	16	19	12	8	68	16	17	23	30	14	13	7	9

小児科

報告定点数 31 ケ所 (内訳) 東灘4, 灘2, 中央2, 兵庫2,
設置定点数 31 ケ所 北5, 長田2, 須磨4, 垂水5, 西5

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	20歳~						
RSウイルス感染症	3		5		5			3	5	21		3	9	3	4	1			1											
咽頭結膜熱	2						2	2	1	7			1		1	4		1												
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	7	3		12	1	11	6	14	57			3	6	7	10	6	4	3	6	11								1	
感染性胃腸炎	19	3	17	13	46	10	24	43	20	195		8	24	20	16	11	20	20	12	6	6	19	7						26	
水痘	2	1			4					7			1			2	2		1		1									
手足口病	3									3				3																
伝染性紅斑	2		3		1	2		1	2	11			1	1	2	2	1	2				2								
突発性発疹	2		3				2	2		9	1	1	6	1																
ヘルパンギーナ										0																				
流行性耳下腺炎							1	1	1	3				1							1									

百日咳は、平成30年1月1日から全数報告となりました。医療機関で患者を診断した際には、届出基準に基づき、届出の提出をお願いいたします。

眼科

報告定点数 10 ケ所 (内訳) 東灘1, 灘1, 中央1, 兵庫1,
設置定点数 10 ケ所 北1, 長田1, 須磨1, 垂水1, 西2

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	70歳~
急性出血性結膜炎										0																			
流行性角結膜炎	1									1																1			

【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

東灘区○ノロウイルス感染症5例:1歳 女2例、2歳 男女、6歳 男
 ○ロタウイルス感染症3例:1歳 男、2歳 男、7歳 女
 中央区○ヒトメタニューモウイルス感染症1例:1歳 男
 北 区○ノロウイルス感染症1例:2歳 男

【基幹定点からの報告】

無菌性髄膜炎2例:70代 男、80代 女
 インフルエンザによる入院10例:5~9歳 1例、50代 1例、60代 3例、70代 2例、
 80代 1例、90代 2例(うち、インフルエンザA型1例、型別不明9例)

【全国の感染症の状況】

○インフルエンザ

市内のインフルエンザの定点あたりの患者数は6.4人と減少傾向です(先週:9.3人)。
 昨シーズンと比較すると患者数の減少するスピードが速く、インフルエンザB型の患者数が少ないです。
 しかしながら、例年、インフルエンザB型は2月下旬頃から春先にかけて患者が増加するため、今後の動向を確認しましょう。

(インフルエンザ定点医療機関から報告された迅速キット陽性情報)

A 型	B 型	A型およびB型
257	13	0

○風しん

全国で風しん患者発生の報告が続いています。平成30年第40週(10月1日~10月7日)から平成31年2月17日までに
 兵庫県では、58例、神戸市では、10例(0~4歳 1例、10代 1例、20代 1例、40代 3例、50代 3例、70代 1例)の報告(IgM抗体検査陽性による検査診断例および臨床診断例)がありました。

[風しんの発生状況 国立感染症研究所HP](#)

[風しん予防接種の助成について 神戸市HP](#)

〔麻しんの届出が2例ありました。〕
 今年に入り、大阪市内の商業施設で集団感染の報告があり、大阪を中心に関西での麻しん患者発生が増えています。神戸市では今週、市内医療機関から麻しんの届出が2例ありました。

麻しんは感染力が強く、空気感染するため、手洗いやマスクでの予防ができません。ワクチンが有効な予防法です。予防接種を受けたことがなく、麻しんにかかったことがない人には、ワクチン接種を検討しましょう。また、約10~12日の潜伏期間の後、発熱、発疹等の症状が現れます。麻しん患者と接触した可能性があり、接触後に麻しんを疑う症状が出現した際には、医療機関に事前連絡の上、公共交通機関の利用をなるべく避け、マスクを着用して受診しましょう。

[麻しん\(はしか\)について 神戸市](#)

[感染症に関すること 大阪市](#)